

さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
Tel 3750-4241

〔ぼくたち わたしたちの大きな夢!!〕

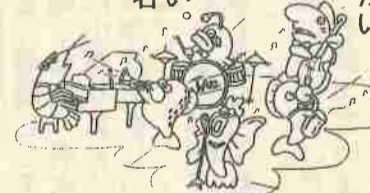
迎

春

新年 あけましておめでとうございます。
さあ!! 皆様の今年の目標は何ですか。少子化と言われる昨今では、近所で元気に遊ぶ子どもたちの声が聞こえなくなりつつあります。
そこで「さんぽみち」の編集委員が将来の「ぼくの夢、わたしの夢」について76名の子どもたちにインタビューしました。

あなたの夢をおしえてください。

- ・将棋が好きなので上達したい。
十二歳 男子
- ・中学校の先生になりたい。
十五歳 男子 他1名
- ・ミュージシャンになりたい。
十六歳 男子 他2名
- ・動物が好きなので獣医。
十歳 女子 他3名
- ・自分の父親のように頼りがいのある立派な人間になりたい。
十六歳 女子
- ・パンダの飼育係。
十一歳 女子 他1名
- ・バスケットボールの選手。
十二歳 男子 他1名
- ・医者になりたい。
十三歳 女子 他1名
- ・スポーツ万能になりたい。
十三歳 男子
- ・剣道を習っているので剣道日本一になりたい。
十一歳 男子
- ・動物の服などを売る仕事。
十歳 女子
- ・プロ野球選手。
十歳 男子 他2名
- ・船長さん。
十歳 男子
- ・サッカー選手。
六歳 男子 他2名
- ・ファッションデザイナー。
九歳 女子 他1名
- ・クリーニング屋さん。
八歳 女子
- ・保育園の先生。
六歳 女子 他4名
- ・ケーキ屋さん。
七歳 女子 他3名
- ・マンガ家・歌手。
十一歳 女子
- ・マンガ家・イラストレーター。
十一歳 女子
- ・警察官。
七歳 女子 他1名
- ・美容師。
十一歳 女子
- ・今、劇団に入っているので俳優。
七歳 男子 他1名
- ・スキートの選手。
十歳 男子
- ・パイロット。
十三歳 男子 他1名
- ・英語の先生。
十一歳 女子 他1名
- ・剣道家。
十二歳 男子
- ・植物の研究。
十八歳 男子
- ・看護師。
十一歳 女子 他2名
- ・テニスの選手になりたい。
十一歳 男子 他1名
- ・絵描きになりたい。
十二歳 女子 他1名
- ・音楽が好き、作曲家。
十七歳 男子
- ・バスケットボール大会で優勝したい。
十一歳 男子
- ・幼稚園の先生。
十八歳 男子 他1名
- ・メーカーキャプアーティスト。
十一歳 女子
- ・心理カウンセラー。
十一歳 女子
- ・ゲーム屋さん。
七歳 男子
- ・おもちゃ屋さん。
八歳 女子
- ・探偵になる。
十歳 男子
- ・サラリーマンのようになりたい。
六歳 女子
- ・デイズニールランドのキャスト。
十三歳 女子
- ・ソフトボールの選手。
十二歳 男子
- ・お菓子屋さん。
十歳 女子
- ・マンガ家。
十歳 女子
- ・建築家。(大工)
九歳 男子
- ・家具屋さん。
十六歳 男子
- ・おもちゃ屋さん。
八歳 女子
- ・探偵になる。
十歳 男子
- ・サラリーマンのようになりたい。
六歳 女子
- ・デイズニールランドのキャスト。
十三歳 女子
- ・ソフトボールの選手。
十二歳 男子
- ・お菓子屋さん。
十歳 女子
- ・マンガ家。
十歳 女子
- ・建築家。(大工)
九歳 男子
- ・家具屋さん。
十六歳 男子



日常の生活の中で話をしたり、声もかけられないでいる社会や地域の人も、子どもたちにも歩み寄り、もっと大きな愛と、やさしい眸で見守っていききたいものです。
子どもたちにとって現実には厳しくそれでも大きく飛翔しようとしています。
わたしたちも又希望と現実の出来事を紡ぎ合わせて、軌道修正しつつ、それぞれの大きな夢と自己実現の道を進もうではありませんか。
千鳥二丁目 大森 律子

連台運動会で鶺鴒の木和太鼓競演



鶺鴒の木二丁目町会には十年以上の歴史を重ねた「多摩川鶺鴒の木太鼓連」がある。近隣から演奏依頼を受ける程に上達、子供連は先日連台運動会でもその雄姿を披露して大いに楽しませてもらった。

子供連は指導者にも恵まれて、技術のみならず礼儀作法にも及んで指導を受けている。有志によって発足した「支援する会」も側面から援助を続けてくれ、太鼓を通して情操豊かな心が育ち伝統ある郷土芸能がより良く継承されることを願った町会の目的は着実に実りつつある。

太鼓を通して体験が子ども達の少年期の貴重な宝となつて、それぞれの場で元気に翔く青年に育つてくれることを願ひ、これからは陰から応援を惜しみなく続けていこうと思う。

鶺鴒の木二丁目 安斎 哲



五年前盆踊りの太鼓の練習中に嶺町小学校一年生の男の子が「太鼓を敲かせてください」と練習に参加して、その年の盆踊り大会には櫓の上で大人と一緒に三日間太鼓を打ちました。

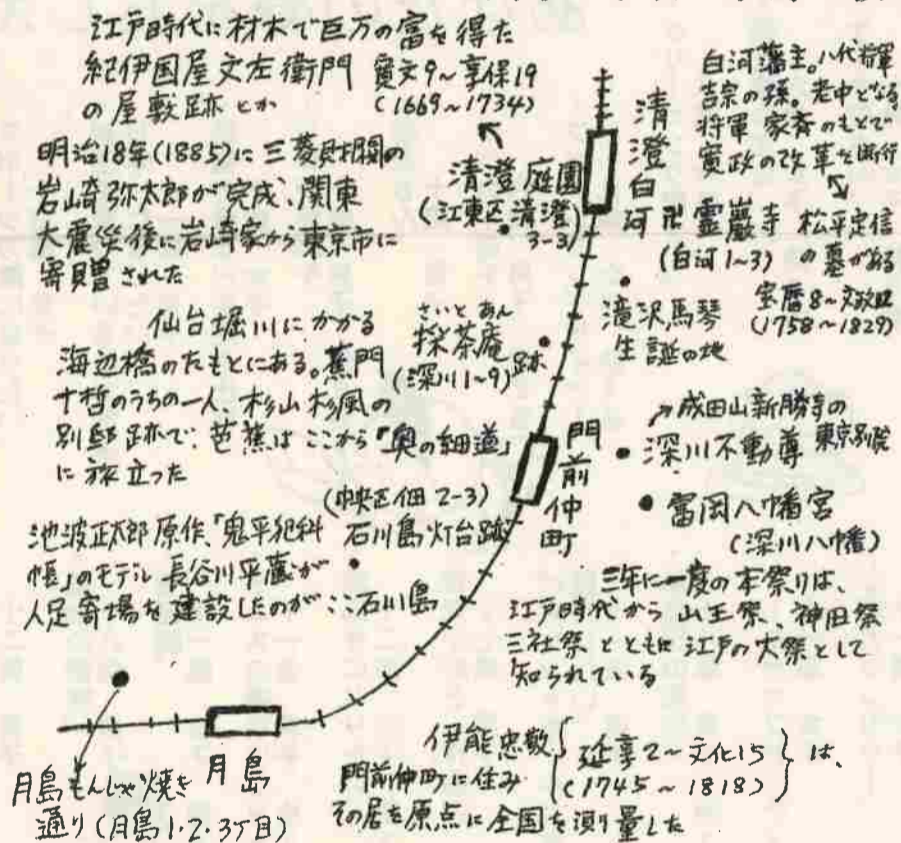
練習は嶺町小学校のPTA会長が教えていましたので、次の年に二人そしてその翌年には三人参加して、現在六人の子ども達になりました。

昨年までは町会の盆踊り大会だけでしたが、今年には町会連合運動会に参加しました。鶺鴒の木太鼓に続き、三丁目の子ども太鼓を打ち参加した人たちが輪になり盆踊りを踊り、初めての対外演奏で子ども達も大喜びで興奮していました。

これからも、町ぐるみで地域の子ども達を育てていきたいと思ひます。

さんぽしてみませんか

都営地下鉄大江戸線 その8 清澄白河～月島
千鳥一丁目 水野 敬司



リレーエッセイ

このみち

千鳥一丁目 宇野 恵美子



千鳥の踏切から第二京浜国道へ向かうこの道は、かつて、六郷用水の流れていた道。

徳川家康が、家臣に命じて作らせた農業用水、十四年の歳月をかけて、大田区平坦部の農村全域の用地を、灌漑したそうです。

この用水は子供の頃、楽しい遊び場でした。清水で水遊び、清水橋で花火、かくれんぼなど、想い出が沢山あります。

折りしも江戸開府四百年、石碑だけが往時をしのばせています。四百年も過ぎたなんて信じられませんか。

道の中程に公園があります。春ともなると、梅、桜、つつじ、あじさい、など次々に開花し道行く人を楽しませてくれます。

このまちは変わりつつあります。

清水も、清水橋も、ありません。緑いっぱい、花いっぱいのこのみちは、何時迄も、変わらないでほしいと願っています。

俳句

南久が原二丁目 金子 千枝子

しきたりを椀にこめたる雑煮かな
初大師鈴切る音に押されつつ
芸終へてどこか淋しき猿廻し
母似なる両手そろへて日向ぼこ
平凡は幸せなこと冬ぬくし
古時計鳴りて煖炉の円居かな
採り箸に鶯餅の柔かく

編集後記

新春を寿ぎ皆様おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

二十一世紀を託す子供の大きな夢を期待しながら編集委員がアンケート調査を行いました。

本年も「さんぽみち」のご愛読と育成に皆様のお力添えをお願い致します。

意見、話題をお待ち申し上げます。

編集長 池田 進太郎

お詫び

第三十六号(プロジェクト松山)の記事の中に誤りがありました。

東調布第三小学校 本間孝幸先生と掲載いたしましたのが、正しくは、本島孝幸先生です。お詫びいたします。

鶺鴒の木特別出張所管内	
人	男10,573名
	女11,182名
□	計21,755名
世帯数	10,916世帯
平成15年12月1日現在	